

育Gの会クローバー(京都先端科学大学)

地域防災対策支援プロジェクト 災害に備えよう！

日ごろからできる取り組みを知ろう！

実施メンバー: 健康医療学部看護学科 岩崎奈菜美・岩本美都葵・久世樹里奈・中村ほの香・原田京夏・宮川聖羅・吉村隼人・四辻姫夢・脇本和
指導責任者: 健康医療学部看護学科 今西誠子

取り組んだ課題:

- ①子どもや地域を通じて保護者の交流のきっかけを作る取組
- ③消防団等と連携した防災啓発活動や、地域のハザードマップ作り、非常食のレビューなど、大学生が主体となって防災啓発活動を行う取組

～ 活 動 内 容 ～

1. 防災イベントの実施

- ①8月1日(木)19時～20時; 京都先端科学大学
「災害に備えよう！～災害時に使える知識～」学習会 & 交流会
対象: 山ノ内学区民生児童委員・民生高齢者委員・自主防災会委員
- ②8月21日(水)10時30分～12時; 野菊荘
「小学5・6年生向け防災講座」
対象: 小学生と保護者
- ③9月9日(月)13:30～15:00; 右京区中央老人福祉センター
「教養講座【地域防災対策支援プロジェクト】
～災害に備えて、日頃からできる取り組みを知ろう！～」
対象: 地域在住の高齢者
- ④11月10日(土)9時～12時; 山ノ内小学校
「山ノ内学区の総合防災訓練:「京都先端科学大学防災講座」

2. パンフレットの配架及び配布

- ①まちづくり支援センターMACHIKO(40部)
右京区内児童館(各館20部×5か所)
京都市右京中央老人福祉センター(100部)
京都市南中央老人福祉センター(100部)
- ②山ノ内学区乳幼児家庭と独居老人家庭への戸別配布(200部)
- ③山ノ内学区総合防災訓練参加者に配布(100部)
- ④京都先端科学大学亀岡キャンパス地域連携支援センター(30部)・太秦キャンパス地域連携支援センター(30部)

独自作成したパンフレットを活用して
体験イベントを実施！
主な活動地域は京都市内・亀岡です。

～パンフレット作成～

パンフレット内容

1. 災害に備えよう！防災ポーチ
2. 共有しよう！災害時の連絡手段
3. 子どもとレインコートをつくろう！
4. ハザードマップを確認しよう！
5. 被災生活を支える災害食調理法
6. おう吐物の処理方法(ノロウイルス)
7. 災害時に役立てよう！牛乳パックトイレ
8. 避難所での女性の困った！
9. 女性のための避難グッズ
10. 体力低下予防方法
11. 災害に備えよう！応急手当



「小学5・6年生向け防災講座」 in 野菊荘

「被災生活を支える災害食調理法」
実施体験風景



「これならいつでもどこでも持って
行けるね」と、楽しく作成



「災害に備えよう！防災ポーチ」作成風景

「災害に備えよう！～災害時に使える知識～」学習会 & 交流会
in 京都先端科学大学

「おう吐物の処理方法(ノロウイルス)」
実演風景

性被害対策の必要性を自分たちの
こととして考えるきっかけに。



「避難所での女性の困った」
説明 & 質疑応答風景

「災害に備えよう！応急手当」
実演風景



「災害グッズ・避難グッズ」の展示風景

子どもたちと一緒に災害食の調理実習を、
体験してもらいました。
意外と簡単、美味しかったよ！

先端科学大学講習会(災害に備えよう・災害グッズ説明 in 山ノ内小学校



「体力低下予防方法」

普段から乾物を調理に取り
入れ、食べなれましょう。

「災害に備えよう！応急手当」
実演風景



「～災害に備えて、日頃からできる取り組みを知ろう！～
in 右京区中央老人福祉センター

「体力低下予防方法」
実施風景

意外と丈夫。作ってみよう。

「レインコートをつくろう！」
作成後の試着風景



いつでも、
簡単にできるね。

寒い時には、防寒にもなるね

「災害時に役立てよう！
牛乳パックトイレ」体験風景

【今後に向けて】

- 目標:
- ・年代問わずに参加・体験できる防災イベント開催の工夫
→子ども向け、高齢者向けなど区別なく実施できる防災イベントの開催する
 - ・変わりゆく避難方法や避難場所と防災対策の説明
→避難所のイメージの変化や様々な防災サービスをSNSを活用し広く市民へ伝える
 - ・フェーズフリーの防災対策を普及し、防災準備のハードルを下げる
→災害時使用ができる普段使いの物品や行動、食事の工夫について知らせる
 - ・災害時に孤立化する可能性のある地域(京丹波や京丹後など)での防災対策の検討
→イベント開催に向けてニーズ調査をする。減災の防災対策の実施状況を調査する

【実施成果】

1. 参加者アンケートより
回収数 50部 参加者の年代 8歳～70歳代
参加者からの意見(一部抜粋)
 - ★身近な物の活用理解
・骨折時の対応は、身近なものを利用したものであり、とても参考になった
 - ・レジ袋の使い方を初めて知り良かった。
 - ・レインコートは(ナイロン袋で)手軽に作れて寒いときに使える。など
 - ★災害に対する知識の普及
・嘔吐物の処理、分かり易く、ハイターなど常備を心掛けたい
 - ・性被害の多さにびっくりした
 - ・災害伝言ダイヤルを聞いてはいたが使用方法を知らなかったのが良かった
 - ★災害準備意識の向上
・(防災ポーチは)家族にも教えようと思った。
 - ・体力低下の予防ストレッチは、毎日これからしようと思う
 - ★イベント全体について
・学生さんがボランティアで教えてくださる事が大変ありがたい
 - ・相談したり、考えを出し合ったり意見交換できたことがとても良かった
2. **活動を通して学生らが感じたこと**
 - ・説明だけでなく実践を通して参加者とコミュニケーションを取って活動できた
 - ・防災グッズを実際に触れていただくことで理解を深めることができた
 - ・物品の使い方など丁寧に説明でき確認を行うことができた
 - ・内容や説明方法を変えるとより良いものになると感じた
 - ・学生の説明に真摯に聞いていただき、学修してよかった